

市民企画講座（市議との対話集会）20171021 事業実施報告

（2017年10月21日・公民館共催事業等実績報告書2017より）

具体的には、多摩市の社会教育施設のあり方を考える市民と市議会議員との対話集会を催し、公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等一私達の暮らしを楽しく、豊かにしてくれる公共施設のあり方を、みんなで考えていく内容。

2017年10月21日 午後6時30分～午後9時

40人（内訳 市民30人 市議会議員7人（+1人時間前に挨拶に来られた）永山公民館・市民企画講座担当の職員2人、タウンニュース社取材記者）

公設掲示板32か所にカラーチラシA4版掲示・チラシ2000枚を

関戸・永山公民館、市内図書館コミセンに置かせて頂く。

市議会議員の皆さんに2回のアンケートをお願いし、1回目は準備段階で13人の方から、集会の持ち方にも意見を頂きつつ進めてきた。2回目は16人から回答して頂いた。2回目は、冊子で公表、100部作製当日配布させて頂く。当日配布の資料（別紙）も100部作製。

1部では①荒井容子氏による基調報告、②東寺方複合施設の存続を考える会代表齊藤仁氏と、豊ヶ丘複合館存続の会代表大橋慶一氏による、経過報告と市民として感じたこと、考えたこと、分かってきたこと（この問題で運動してきた市民から）について、分かりやすくパワーポイントで話された。この報告を受けて5つの班に分かれてのワークショップ形式で、市民6～7人と市議会議員1人～2人が1班を構成し、30分位、意見交換を行い交流した。

このたびの市民企画講座では、担当職員の尾又さん、西條さんと準備段階で、いろいろと助言もいただき、私たちの会合にも参加して下さいなど、ご協力いただき本当に、感謝しております。

ベルブホール担当の職員2人の方々にもお世話になりました。

どうぞよろしくお伝えください。

（この日は、台風の雨と、突然の国会解散による投票日前日に当たり、参加者の人数も心配し、みんなで協力してお誘いをしました。）

以上 （文責 安室君子）